

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイ雲柿の木		
○保護者評価実施期間	R7年 7月 1日		～ R7年 7月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R7年 7月 1日		～ R7年 7月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 8月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行事等のボランティア参加や、学生アルバイト等を積極的に採用し、学校や事業所外の方たちと交流ができる機会を作っています	ボランティアは、最寄りの学校に案内を配り、一人でも多くの参加があるよう働きかけを行っています。学生アルバイトは、期間や人数関係なく採用し、一般の方が事業所や、障害をもつ子どもたちを知ってもらおう機会としています	地域の学校と関係を築いていき、交流する機会を増やしていきたいです。
2	職員に対し、定期的に様々な分類の研修を行っており、専門性や、応用力のある職員の育成に努めています	毎月、法人内及び施設内研修を計画しており、その内容も多種多様なものとしています。専門的知識を高めるための研修だけでなく、職員のストレス解消に繋がるような研修も取り入れています。	保護者の方も参加できる形式の研修会を計画するなど、ご家族の方と一緒に勉強し、共通の意識を持つことで、さらなる支援の向上に繋がると考えます
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用されている人数に対し、事業所の活動場所が狭いと感じられることがある	主な活動場所としている部屋が、人数に対して十分な広さが確保できていないと思われます。	学齢や活動内容に合わせて活動場所を変え、一か所に人が集中することが無いよう配慮をしています。その他、近隣の小学校の体育会を借用して活動するなど、広いスペースで動ける方法をとるようにしています。
2	施設的环境整備や活動内容が、保護者に十分に伝わっていない	連絡帳や、送迎時に活動内容をお伝えするようにしていますが、細部まで配慮が行き届いていない時があるようです。	視覚的な情報が不足していると思っています。写真やSNSを使って、わかりやすくお伝えすることができるよう努力したいと思います。
3	保護者との意見交換、情報共有が不十分な時がある	直接お会いすることが多い方と、お会いする機会が少ない方では、お子さまについての情報共有や、意見交換をする機会に差があり、不十分と感じられている方もいると思われます。	定期的に保護者の方へ直接お話をさせていただく機会を作り、満足のいくサービスに繋がるよう努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 デイ雲柿の木

公表日 令和 8年 2月18日

利用児童数 16 (13世帯)

回収数 12

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2		4		・敷地面積が狭い上に、こども達が成長し狭さを感じられる方がいらっやと思います。過ごす場所の分散化等を行い、改善に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9			3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7		2	3	・地域の他の子どもとの交流は、今の高校生ボランティアやアルバイトの方々との程度ぐらいで良いです	・現在行っている交流の内容については、保護者の方にその事についてお知らせする機会が不十分だったようであり、増やしていけるよう努めます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10			2		・保護者の方向けの研修会は開催しているものの、実施回数が少ないため認知度が低いと思われます。回数を増やしていけるよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10		1	1		・保護者の方と話しをする機会を増やし、お子様について共通理解ができるよう尽力致します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1	1			・突発的なものは対応していますが、保護者の皆様にも相談し、必要であれば、定期的な面談等を計画致します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11		1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10	2		1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11		1		・連絡帳や直接口頭で、もしくは電話にてご連絡をさせていただいております。説明等不十分な場合があります。その場でご質問頂きますよう、こちらよりお願いしたいと思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			2	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11		1		・ご意見を真摯に受け止め、対応ができることは実施していきたいと思っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		デイ雲柿の木				公表日	令和 8年 2月18日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	2	・狭い分、部屋を分けて使用することでスペースを確保している ・限られた空間中で行われている ・長期休暇時など、同じ場所で過ごす狭く感じる	・利用児童の年齢が上がってきており、部屋を分けて使用しているが、窮屈さを感じる時もある。いかに場所を有効活用するか、公共機関を使用するか等工夫が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	2	・建物によっては、エレベーターが無いものもある。全てバリアフリーとは言えない	・バリアフリー化については、今後さらに改善の余地がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14		・フローリングで、使わないものを置かないようにしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	1		・こどもが過ごす場所に、個別に部屋があるわけではなく、事業所内の個室を活用している。過ごしている場所をパーテーションでしきる等の工夫をしたい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14		・QC活動等を取り入れることで、職員が理解しやすい環境づくりを行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	1	第三者評価は行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	2			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		・子供に応じて作業活動等を行っている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	2		・職員の協力のもと支援が実施されているが、時間的余裕がないときあり、事前の打ち合わせ役割・分担は課題がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	3		・終業直前まで支援を行っていることが多く、特異なことがあった場合はその都度連絡・情報共有を行い、そうでない場合は翌日情報共有を行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	14			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	1		・相談支援事業所に協力してもらいながら、行うことがある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	1		・相談支援事業所に協力してもらいながら、行うことがある
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	2		・地域の子どもたちとの交流については、祭りや運動会等の行事で交流することがあるが、機会を増やしていく必要があると思われる
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	1		・情報提供は行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14				